

報告事項ケ

江原道教育庁との教育交流事業に係る教育長訪韓結果について

江原道教育庁との教育交流事業に係る教育長訪韓結果について、次のとおり提出します。

平成20年6月19日

鳥取県教育委員会教育長 中 永 廣 樹

江原道教育庁との教育交流事業に係る教育長訪韓結果について

平成20年6月19日
教育総務課

1 旅行期間 平成20年5月13日(火)～16日(金)

2 旅行者 中永教育長、田中教育総務課長、松田家庭・地域教育課長、永野高等学校課指導係長、河上小中学校課指導主事、田中教育総務課副主幹、慎交流推進課国際交流員

3 主な概要

(1) ソウル仁川空港出迎え等<5/13(火)>

○米子出発15時の予定が機材の故障等により約4時間遅れ、仁川空港に到着したのは20時30分頃であった。

○江原道教育庁からの出迎えとして、中等教育課長、奨学士(日本の指導主事)、通訳の3名が空港内に待っており、21時頃合流した。

○仁川空港発が22時頃で、春川市内のホテルに到着したのは午前0時頃であった。

(2) 江原道庁：韓副知事<5/14(水)>

○副知事コメント

- ・鳥取県と江原道似ている。
- ・明日は先生の日。以前は先生の影は踏まないという言葉があったぐらい先生は尊敬されていたが今は違う。
- ・先生一人一人が周りから尊敬される社会になってほしい。
- ・江原道も人口が減ってきている。高校までは地元の高校に進学するが、大学はソウル市内に進学する傾向が高い。
- ・教育交流は学生などの相互理解につながり、両県道、両国の友好に役立つので活発になってほしい。
- ・教育庁との協議は、成果が目に見える形の協議となるように願っている。



(3) 江原道議会：崔副議長ほか<5/14(水)>

○両県道の交流が中断して残念だった。

○教育交流は非常に大切なこと。

○中断していた両県道の交流が再開し、これから教育交流も活発になってほしい。

○議会としても協力したい。

○韓国には「木を植えるときは10年先を見据える。人を育てるときは100年先を見据える。」ということわざがある。

○スポーツ、文化などの交流よりも教育交流は非常に大切だと思うので、より交流しあえるよう期待している。



(4) ガサムチョ小学校、江原東園学校（特別支援学校）視察<5/14（水）>

○ガサムチョ小学校

- ・田舎の一般的な小学校ということで、校庭内から視察した。
- ・韓国では一般的であるが校庭横に李舜臣（イ・スンミン：文禄・慶長の役の李氏朝鮮軍の将軍）の銅像が安置されていた。

○江原東園学校

- ・知的障害児230人が通学している特別支援学校。
- ・春川市内に7ヶ所ある特別支援学校のうちのひとつ。
- ・大型バスを5台所有しており、遠方からの通学者もいる。
- ・生徒の就労作業として、石けんなどを作っている。



(5) 教育交流協議（○江原道、●鳥取県）

①教育監の来日について

- 今年韓国では9月に国勢調査があり全体を通じて9月は動きにくい。
- 現在日程調整段階であるが、鳥取県を訪問するのは10月中旬頃を予定したい。
- 日程は3泊4日としたい。
- 日程を調整し早めに教えてほしい。
- 日本のほかに中国、カザフスタン、カナダ、アメリカ等と交流している。



②児童生徒美術展の開催について

- 両県道が40点ずつとしたい。
- 教員の作品を増やしたらどうかと思う。
小学校10点、中学校10点、高校10点、教員10点の合計40点でどうか。
- 教員の作品10点が困難かもしれないが目標とする。

③教員交流

- 日程は6/22～27で良い。
- 意見交換会のテーマは、江原道からは「英語公教育強化法案」を考えているが鳥取県側はどうか。
- 江原道側の提案も考慮してもう少し検討したい。
- 鳥取県からも提案していただければ、一緒に検討したいと思う。
- ホームステイは是非続けてほしい。
- ホームステイする場合、早めに校種別、男女別の人数を教えてください。
- 了解

④児童生徒交流

- 日程は9/9～12でお願いしたい。
- 交流内容は、校種別に様々な行事を予定したい。伝統行事への参加も考えている。
- 人数は21人のまま。



⑤ P T A 交流

- 日程は8 / 25 ~ 31の間が良い。
- シンポジウムは同時通訳が必要となり予算の都合があるので難しいが、ワークショップ形式なら良い。
 - イメージはワークショップ形式。
 - テーマは携帯・インターネット対策の取組などは非常によい。
 - 交流団体のメンバーは保護者を増やしてほしい。
 - 了解。3泊4日としたいが（提案していたことも合致）、ホームステイを希望するか。
 - 従来は5泊6日であるが、3泊4日で承知。3泊4日のうち1泊をホームステイを希望する。あとはホテル泊でも良い。

【教育交流協議まとめ】

①教育監の来日

- ・10月中旬を予定。詳細は今後詰める。
- ・日程は3泊4日

②児童生徒美術展

- ・両県道が40点ずつとする。
- ・小学校10点、中学校10点、高校10点、教員10点を目標とする。

③教員交流

- ・日程は6 / 22 ~ 27で決定。ホームステイも従前と同じく実施。
- ・意見交換会のテーマとして、江原道側からは「英語公教育強化法案」を提出、鳥取県からは現在検討中であるが、鳥取県からテーマを提出した場合、両方のテーマで意見交換を実施する。
- ・ホームステイの校種別、男女別は早めに教えてもらうこととする。

④児童生徒交流

- ・日程は9 / 9 ~ 12で派遣者は21人とする。
- ・校種別に様々な内容の交流を実施する。

⑤ P T A 交流

- ・日程は8 / 25 ~ 31で検討する。
- ・テーマをしぼりワークショップを開催する。
- ・テーマとして携帯・インターネット対策の取組は良い。
- ・3泊4日で、うち1泊がホームステイで、あとはホテル泊でも良い。
- ・保護者の増は了解。

(6) 南春川中学校視察<5 / 15 (木)>

- 当日は、韓国では27回目の先生の日であり、その行事と授業風景を視察した。
- 当中学校は春川市の中学校では一番大きい男子中学。
- 法律では35人で1学級であるが、現在37人学級を実施している。クラスは12クラス。
- 法律で学校の成績の公表が義務化された。
- 韓国では学区はあるけれど、試験があるので学区以外からの生徒も来ている。
- 先生の日は、恩師を尊敬し感謝を伝えるために設定されたが、保護者からの高価な金品の贈呈など様々な問題が出たため、現在では実施する学校と実施しない学校がある。当校では、花の胸飾りをそれぞれ先生に送るようにしている。

○先生の日に併せて、外部講師による特別授業を実施している。食に関すること、伝統的な衣服の着こなしに関する事業などを実施していた。



(7) 江原教育情報院<5/15(木)>

- 今年の3月1日に開館した、鳥取県の情報センターと教育センターの機能を併せ持つ施設。
- 教員だけでなく、学生、PTA対象のインターネットを使ったサイバー教育などの研修を実施している。
- その他に、IT教材の開発や教育情報のインフラ整備を広めるなどを行っている。
- 館内には江原道内の学校（全教員にパソコン配置済み）など江原道教育庁及び道内全ての学校のサーバーが一元化され情報管理を一手に行っており、国とも連携してハッキングへの対応も行っている。また、教材開発のための収録スタジオが三ヶ所あった。

